

授業科目名	工業簿記論Ⅱ		科目コード	575		
開講クラス	総合ビジネス科	コース	会計実務コース	学 年	1 年	
担当教員	山下 貴光					
	実務経験教員 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ) ・ 無 ) 実務経験内容 企業(経理業務)勤務					
開講時期 1コマ90分	前期・ <input checked="" type="radio"/> 後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	32 コマ	
	必 須 ・ 選 択 ・ <input checked="" type="radio"/> 選択必須			時 間 数	64 時間	
使 用 テキスト1	書 名	合格テキスト日商簿記2級工業簿記				
	著 者	TAC(株)				
	出版社	TAC(株)出版事業部				
使 用 テキスト2	書 名	合格トレーニング日商簿記2級工業簿記				
	著 者	TAC(株)				
	出版社	TAC(株)出版事部				
参考図書						
授業形態	<input checked="" type="radio"/> 講義 ・ <input checked="" type="radio"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ( )					
<授業の目的・目標> 高度な工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるよう 取り組み、日本商工会議所簿記2級取得をめざす。						
<授業の概要・授業方針> さまざまな原価計算方法や考え方を理解し、コストと利益の把握に努める。また将来の利益計 画を算定することを理解する。						
<成績基準・評価基準> 出席状況、期末試験、日商簿記2級取得、全経1級原価計算・工業簿記に向けた取り組みな どで総合評価する。						
<使用問題集・注意事項>						
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>						

授業科目名		工業簿記論Ⅱ
回	授業内容	備考
1	標準原価計算とは	
2	標準原価の計算の手続き	
3	原価標準の設定	
4	標準原価の計算	
5	勘定記入の方法	
6	原価差異の計算	
7	直接材料費差異の分析	
8	直接労務費差異の分析	
9	製造間接費差異の分析	
10	標準原価計算の財務諸表	
11	全部原価計算と直接原価計算	
12	短期利益計画	
13	CVP分析	
14	原価の固定分解	
15	本社工場会計	
16	工場会計を独立させた場合の記帳方法	
17	全経簿記1級原価計算・工業簿記模擬問題1回	
18	日商簿記2級模擬問題1回	
19	全経簿記1級原価計算・工業簿記模擬問題2回	
20	日商簿記2級模擬問題2回	
21	全経簿記1級原価計算・工業簿記模擬問題3回	
22	日商簿記2級模擬問題3回	
23	全経簿記1級原価計算・工業簿記模擬問題4回	
24	日商簿記2級模擬問題4回	
25	全経簿記1級原価計算・工業簿記模擬問題4回	
26	日商簿記2級模擬問題4回	
27	全経簿記1級原価計算・工業簿記模擬問題5回	
28	日商簿記2級模擬問題5回	
29	全経簿記1級原価計算・工業簿記模擬問題6回	
30	日商簿記2級模擬問題6回	
31	全経簿記1級原価計算・工業簿記模擬問題7回	
32	日商簿記2級模擬問題7回	